様式第１号（第１０条関係）

2023年度業務実績報告書

提出日　２０２４年1月１８日

１．職名・氏名　准教授　岡田隆志

２．学位　学位　博士　、専門分野　社会福祉学　、授与機関　ルーテル学院大学　、
授与年　２０２２

３．教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 精神保健ソーシャルワーク実習(４)4年次 精神保健ソーシャルワーク実習指導Ⅰ（２）３年次 精神保健ソーシャルワーク実習指導Ⅱ（２）４年次 精神保健ソーシャルワーク演習（２）４年次 精神保健ソーシャルワーク演習１（２）３年次 精神保健福祉制度論（４）３年次 精神保健福祉の原理（４）２年次 卒業研究指導（４）４年次 現代福祉問題論(２)１年次（オムニバス） 精神保健福祉演習(２)　大学院修士課程 修士論文指導(８)　大学院修士課程
②内容・ねらい ・主には国家資格である精神保健福祉士の指定科目を担当した。 ・精神保健福祉士国家資格に必要な実習の主担当を担った。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 ・要配慮学生のうち、通学が困難であった学生等にオンライン・オンデマンドでの講義を実施するなど教育的な配慮・工夫を行った。
(2)その他の教育活動
内容 ・４年次学生向け、精神保健福祉士の国家資格試験特別講座を開講した（３回）

４．研究業績

(1)研究業績の公表

①著書

【０本】

②学術論文（査読あり）

・共著「『精神保健福祉士のキャリアラダー』活用の実際～自己研鑽支援ツール「さくらセット」の組織への導入による経験と課題～」日本精神保健福祉士協会「精神保健福祉」52(4).

【１本】

③その他論文（査読なし）

・単著「キャリア形成のために研修センターが取り組む資質向上支援策」日本精神保健福祉士協会「精神保健福祉」53(1).

・単著「精神保健福祉領域で県型保健所が市町村に行う技術支援に関する研究（博士論文要約版）」ルーテル学院研究紀要, 57.

【２本】

④学会発表等

・共同発表「法人で取り組んだ‘さくらセット’を活用した研鑽プロジェクトの一年」第２２回日本精神保健福祉士学会学術集会.　共同報告者　有（＊吉田　隆達、小椋　瞳）

・共同発表「精神障害者のパブリックスティグマ低減に向けた効果的な「語り」に関する研究」『日本福祉教育・ボランティア学習学会 第 29 回新潟大会』共同報告者　有（＊松本すみ子）

【２件】

⑤その他の公表実績

・「生涯研修共通テキスト【講義３　私たちの成長に利用できる社会資源】」日本精神保健福祉士協会生涯研修共通テキスト.

・「連載新たな更新制度 第 6 回 新制度は 2023 年 10 月から始まります」日本精神保健福祉士協会研修センターだより START LINE (85) 2-3.

【２本】

(2)科研費等の競争的資金獲得実績

【学外】

1)基盤研究(C)一般

自己教育力に着目した精神保健福祉士の資質向上支援策の構築と効果検証" 分担研究者

2)基盤研究(C)一般

精神障害者のパブリックスティグマ低減に向けた効果的な介入方法の開発に関する研究"　分担研究者

3)第 8 期障害福祉計画の精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に係る成果目標の見直しに資する研究　分担研究者

4)研修と実地教育（OJT）が有機的に連動した相談支援専門員養成体制の構築手法の確立のための研究　分担研究者

【学内】

・個人研究推進費「自治体の精神保健福祉相談員のキャリアパス開発に関する研究」

(3)特許等取得

(4)学会活動等

５．地域・社会貢献活動

１．福井県障がい者虐待防止・権利擁護部会長（2022.4～現在に至る）
２．福井県引きこもり支援専門チーム派遣事業アドバイザー（2022.4～現在に至る）
３．坂井地区障害児者総合支援協議会アドバイザー（2023.4～現在に至る）
４．坂井市ひきこもり・不登校連絡会議アドバイザー（2020.4～現在に至る）
５．福井県精神保健福祉従事者研修会ワーキンググループ　委員（2020.4～現在に至る）
６．福井県精神保健福祉従事者研修会（現任）研修講師(2023.12)
７．仁愛女子高校　開放講義(2023.11)
８．（公社）日本精神保健福祉士協会主催研修の講義６本

６．大学運営への参画

(1)補職

・論集編集委員会　委員
・ハラスメント等人権問題委員会　委員

(2)委員会・チーム活動

（看護福祉学部委員等）
・大学院研究活性化ワーキング　委員

（社会福祉学科委員等）
・国家試験対策講座　委員
・カリキュラム検討委員会　委員

(3)学内行事への参加

(4)その他、自発的活動など